

令和4年度働き方改革促進事業の企画提案に係る質問書に対する回答

番号	質問	回答
1	実践企業になった企業にとってわかりやすいメリットがあるとより良いと考えております。入札時に加点になるなどこの認証については検討されていることはありますでしょうか？	「入札時の加点」をメリットに加えることについては県契約課と調整をいたしました但し導入は難しいという回答のため実施していません。
2	「With コロナ・After コロナ」時代における多様な働き方の提案について、宮城県の意図がありましたらお教えてください。	当該設問については、「With コロナ・After コロナ」時代における働き方の課題や、新しい働き方について貴社の考えをお聞かせいただければと思います。
3	既存のポータルサイトを引き継ぐことは可能でしょうか？また、サーバー移管が必要など条件はありますでしょうか？既存サイトを引き継げるか否かは別として、今のサイトのアクセス解析データを引き継ぐことは可能でしょうか？	今年度事業の仕様にて次年度以降もポータルサイトを引継ぎできるよう契約しているため、アクセス解析データを含め引継ぎは可能です。
4	業務全体に係るスケジュールについて、宮城県が考える理想のスケジュールはありますか？	スケジュール感について、当方から示すものではなく、企画提案書にてお示しいただければと思います。
5	実践企業の目標企業数は、宣言企業からの移行分を含めて50社以上とし、なるべく業種に偏りのないようにすること。 こちらにつきまして、既存の実践企業の更新する企業数も含め、50社以上の認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 実践企業の更新分も含め、令和4年度に認証される企業が50社以上を目標としております。

※質問又は回答の内容が、質問者の具体的な提案事項に密接に関わるものについては、質問者に対してのみ回答しております。

※質問及び回答については、公表用に文章を一部編集しております。